

# もっと議論をHARIMA 深めるまち

町長室より 2022.11月号 No.2



▲所信表明に続き、質疑に应答しました

8月30日に開かれた播磨町議会9月定例会は、町長への就任以来、私にとって初めての議会となりました。冒頭で所信表明を行うお時間をいただき、「いろいろな立場、境遇の皆さまの声をしっかりお聞きしながら、住民、企業、議会、行政の四輪駆動で、まちの目指すべき方向性を共有し、「ワンチームはりま」で全身全霊をかけて走ってまいります」と私の政治理念を述べさせていただきました。全国的に議会と行政が激しく対立する報道がしばしばされますが、対立が長期化すると地方自治の停滞を招きかねません。議会を構成する議員も行政機関の首長も住民の皆さまから直接選挙によって選ばれております。ともに住民を代表する議会と行政であり、まちを発展させたい、住民福祉を向上させたい、誰もが住みたい・住み続けたいと思えるまちをつくりたい、という思いは一致しているはずで

議者と行政は、なれ合いの関係になってはいけません。これからの人口減少、少子高齢化社会においては、これまで以上に質の高いサービスの提供が求められます。わがまち播磨町は停滞している場合ではございません。今こそ本音の議論を交わし合う必要があるのではないのでしょうか。そのためにも我々も情報を積極的に出し、また、合同での勉強会や視察を行うなど、新しいことにも取り組んでまいりたいと思っております。議会と行政は対等の立場で、緊張感のある信頼関係を構築しながら、住民の皆さまのために、よりよい町政の実現を目指してまいります。

最後になりますが、播磨町議会はインターネット中継を行っており、本会議の様を生中継と録画配信でご覧いただけます。皆さまにこのような情報にふれていただくことも、まちづくりへの住民参加となります。播磨町の未来に向かって、みんなで考え、みんなで話し合い、みんなの力を合わせて、ともにまちづくりを進めていきましょう。

播磨町長 佐伯 謙作



## あんぜん・あんしん暮らしのメモ帳

播磨町消費生活センター ☎079-435-1999

ご相談は…お電話ご来訪どちらでもご相談ください。ご来訪の場合、産業環境課窓口にお声がけください。

▶相談日時 ※専門の相談員が相談に応じます。  
毎週月～金曜日（祝日、年末年始を除く）  
9時～12時 13時～16時

## 気をつけて！携帯電話会社を装うメールのフィッシング詐欺！

**事例**  
携帯電話会社から「【重要】利用料金のお支払い確認がとれておりません。至急ご確認ください」とのメールが届いた。びっくりして表示されているURLをタップしたら、携帯電話会社のログイン画面となり、ID・パスワードの入力画面が表示された。本物そっくりだがこれは偽サイトだろうか。

**ひらいひ助言**  
●携帯電話会社からのお知らせと信じて、URLから本物そっくりの偽サイトに誘導されて、IDやパスワード（暗証番号）を入力してしまい、他人に勝手に使われてしまうトラブルが発生しています。

●大手携帯電話会社では、「キャリア決済」（携帯電話料金とまとめてインターネットショッピングなどの利用料を支払

う事ができるサービス）を提供している、ID、パスワードを入力するだけで簡単に他人が勝手にインターネットショッピングなどの支払いが出来てしまいます。

●IDやパスワード、クレジットカード情報など、大切な個人情報が入力しないようにしましょう。

●トラブルに備えて、キャリア決済の限度額を低額に設定しておく方法もある。設定がわからない場合は携帯電話ショップで相談しましょう。

●メールに記載された、URLに簡単にタップすることはやめましょう。

●不安にさせるメールが来たら、一度冷静になって携帯電話会社の正規のホームページでフィッシング詐欺に関する情報がないか確認しましょう。



**楽屋裏**  
10月号の広報はりまリニューアルに続き、今月10月24日には、もう一つ、新しい広報紙を発刊しました。住民ライターが取材をして発行する、町の魅力をPRするための広報紙。『3×3（さんかさん） 播磨町のちよっといいところ』という、ちよっと変わった名前です。どんな広報紙に育つか、私も楽しみです。

新しくなった2つの広報紙をよろしくお祈りしています。感想はメールでお待ちしています。

Eメール  
kikaku@town.harima.lg.jp

# 広報はりまをリニューアルしました

企画課秘書広報係 ☎079-435-0356

リニューアルした広報はりま10月号を手にした感想は、いかがでしたか？広報係に届いたご意見にお答えします。

なぜ、横書きが増えたの？

一番大きな理由は、メールやホームページアドレスの英字や電話番号は、横書きのほうが伝えやすいからです。また、団体名やキャッチコピーなどで増えている英字表記にも対応するためです。

日時など項目の記号は改行するほうが見やすいと思う

限られた紙面で多くの情報を掲載する方法として、簡条書きを改行せず、目立つ記号を使って区切っています。ほかの自治体の広報紙でも導入が増えています。

ピンク色の文字が目が疲れる

明るい色使いを意識して使った色でしたが、印刷してみると、確かに読みづらくなっていました。今

後、文字について、見やすい色で編集します。

試行錯誤を繰り返しながら、これからも読みやすく親しみの持てる紙面づくりを目指していきます。



企画課秘書広報係 宮邊みゆき



広報はりま10月号の「播磨町DE子育てしよう」子どもに関するお知らせを集約しました。現在、就学前の子どもの写真を掲載する「わんぱくはりまっ子」の申し込みを受付中です。

問 企画課秘書広報係 ☎079-435-0356  
kikaku@town.harima.lg.jp

## 協働のまちづくりの「考え方ガイド」をつくりました

播磨町では2022（令和4）年5月に「協働のまちづくり宣言」を行い、10月には庁内機構改革によって、住民協働部が設置されました。「協働のまちづくり宣言」にこんなことが書いてあるかを簡単にまとめた考え方ガイドを住民の皆さんと協働してつくりました。

播磨町の協働のまちづくり宣言には4つの宣言文があります。できるだけ広い意味を持つように少し抽象的な宣言文になっています。では、「協働のまちづくり宣言」には何が書いてあるのか、その考え方をまとめたパンフレット形式の「考え方ガイド」をつくりました。

考え方ガイドをつくるにあたって、できるだけわかりやすく、絵やイラストで伝えられたほうが良いと考えました。そこで、これまで協働のまちづくり宣言の検討に関わってきた方たちと皆さんに相談したところ、「イラスト描いてみましょうか」と快く描いてくださいました。役場の中だけで考えるだけではつくれたかったパンフレットができたと思います。



こんなふうに、相談したり、声をかけることで、お互いの強みを活かしながら、協働のまちづくりが実現すると思います。これもまた、対話の場があったからこそ、できたように思います。

考え方ガイドは、今後町内の公共施設などに配置される予定となっております。ぜひ手にとって御覧ください。

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする  
まちアド通信 協働推進課住民協働係  
☎079-4335-2364